

今月の行事予定

- 2・16日 礼拝 5日 佐山小職場体験 5日 懇談会(ぞう
3・4才児・あひる・ひよこ) 奉仕作業 参観日(あひる・ひよこ)
6日 懇談会(きりん3・4才児・うさぎ・りす) 奉仕作業
参観日(うさぎ・りす) *ほし組の懇談会はありません
9日避難訓練 発育測定(16日ぞう・きりん 12日うさぎ・りす
13日ひよこ・あひる) 19日 クッキー作り 20日 誕生会
24日 新しいクラスの始まり *年長児は仮入学

2月の園だより

社会福祉法人 あいの里 さやま保育園

2026年 2月1日

** 保育目標 和合 なかよくします **

- ・友だちと一緒に表現する楽しさを味わう。
- ・誰とでも、なかよくあそぶことができる。

【法話】 ご 恩

山口県内のお正月は穏やかで、中旬は、ポカポカする日もありましたが、下旬になって冬らしい寒さがやってまいりました。気候の変化、温度変化に留意し体調管理をしたいものです。

さて、私たちは一人で生きていくことは、できません。まわりの多くによって生かされていることを、仏教では「お陰」「ご恩」といいます。そして四恩といって、四つの恩の大切なことが説かれています。その四つは、

1. 父母の恩 (父母や家族の恩)

2. 衆 生の恩 (衆生とは、生きとし生けるもの、一切の生きものことで、それらから受ける衣食住などの恩)

3. 国の恩 (国土天地自然の恩)

4. 三宝の恩 (仏法僧 <仏さま・仏さまの教え・仏さまの教えに従う人(サンガ)> の恩) です。

私自身が、多くに生かされていることに気付かされるところに、「おかげさま」という、ご恩の世界がひらくれます。仏さまの恩(三宝の恩)の中で、父母の恩、衆生の恩、国の恩を味わっていきたいものです。仏恩ぬきに他の恩を感じることは、難しいことです。

合 掌

「わくきら♪フェスティバル」

～ちがっていても、それもいいね♪～

子ども達の思いや考えを尊重し、保護者の方といっしょに子どもたち一人ひとりが輝くことができる、友だちの良さや楽しさを感じ共通の目的に向かって協力して「やりたい」を表現していく行事にしたいと願い、今までにない方法で挑戦する新しい行事になりました。感染症による延期もあり、保護者の皆様にはお忙しい中、多大なご協力をいただきありがとうございました。

保護者の皆様からは「家だとできない廃材遊びを、親子で思う存分できて貴重な経験となりました。」「参加型のフェスティバルで、園の様子がうかがえ、子どもはとても満足そうでした。」「工作をいっしょにする機会ができ、子どもとの触れ合いになった。」「先生方が、子どもの思いを大切にして関わってくださっている事がよくわかった。」「どのお友達ものびのびと楽しんでいる姿が印象的でした。」「カフェコーナーのアイデアは良かったし、給食の先生と関われる機会になった。」「発表会とは違って、子どもはとても楽しかったと言っていました。」「お友達との関わりの中で、家ではなかなか出さない悔しい姿が見られ、成長を感じた。」「お友達と作ったものを褒め合っていて、素敵だなあと思いました。」「何より、子ども達の目が輝いていました。」「作るのが苦手な私はとても疲れましたが、子どもは私が作った衣装を喜んで着てくれました。」「下の子が生まれ、久しぶりにゆっくり二人で何かを作る時間ができてよかったです。」「先生やお友達といっしょに楽しんでいる姿を見ることができました。」「子どもといっしょに創作ができ、成長を感じることができた。」「先生達がいつも温かく見守ってくださっていることがよくわかった。」というご感想をいただきました。

また、「やっぱり、発表会が見たかった。」「事前に趣旨をもつと伝えてほしかった。」「『こどもがまん中』を、園と保護者とで共有して理解した上で、子どもと関わっていける行事にしてほしい。」「集団生活だからこそ出来る、子ども達が作り上げる発表会、それをやり遂げる子ども達の姿が見たい。」などのご意見もいただきました。

園の行事は、子ども達の成長を保護者の皆様と共に感じる貴重な機会です。「子どもも保護者も保育者も楽しめる、主体的に取り組めるものにしたい」という想いを軸に、様々な行事を見つめ直し取り組んでいる今だからこそ、保護者の皆様からいただいたご意見に真摯に向き合い、『こどもまん中とは?』『子どもにとって何が最善か?』を愚直に問い合わせ続ける保育を、より一層、保護者の皆様と共に進めていきたいと感じています。

